

2021年度 倫理委員会（第3回定例会）議事録

開催日：2021年11月6日（土） 13:30～17:00

場 所：会場参加（博多石川ビル貸会議室6F）およびWEB参加の併用

参加者：井内 祥人*、岩見 裕子、勇 秀忠、稲垣 浩通、岩尾 雄四郎、河本 理之、
佐竹 芳郎、佐藤 光雄、清水 富夫、末松 正典*、永岩 研一、西井 康浩、
堀田 源治*、松井 法彦*、村岡 馨、諸藤 明子（16名）

欠席者：城戸美智子、久原正也、下津義博（3名）

オブザーバー：有村 研一*、高畦 博*、南里 勝*、宮園 穰二*、森 文市郎*（5名）

注 意：*印はWEB参加者

議事録作成：末松 監修：西井

1. タイムスケジュール

2021年度第4回定例会は2022年2月5日（土）に開催する。会議の方式は、今回と同様に、会場参加とWEB参加の併用とする。ただし、コロナの感染状況によりWEB参加のみも考える。

委員は九州本部での対面方式を基本とするが、状況によりオンライン参加も許容する。またオブザーバーはオンライン方式での参加を基本とするが、対面式参加も許容する。ただし、後者の場合は交通費の支給はない。

2. 九州版倫理テキストにおける事例研究

今回は、「ジャクソンリース回路の製造物責任訴訟（予防倫理）」について前倫理委員会副委員長の小柳氏と、「技術者倫理の教育（志向倫理）」について佐藤委員より発表があった。

2-1 ジャクソンリース回路の製造物責任訴訟（予防倫理）～小柳氏

① 講演の要旨

- 生後3ヶ月の乳児（患児）の人工呼吸回路の閉塞による死亡事故。
 - 被告は3者：
 - ① 気管切開チューブ製造メーカ（A社：アコマ医科工業 KK）
 - ② ジャクソンリース製造メーカ（B社：タイコヘルスケアジャパン KK）
 - ③ 都立病院：東京都知事（C病院）
- [①②はいずれも製造開始から10年以上]
- A社、B社はそれぞれパーツメーカー。組み合わせて使用したのはC病院である。
 - A社は、接続不具合に関する警告の注意書を貼付したとある。
 - B社は、A社との組み合わせで、接続不具合例が2件あったと報告している。
 - C病院は、B社の梱包箱には注意書きは添付されていなかったと主張している。
- ⇒裁判においては、不法行為が認定され、被告3者（A社、B社、C病院）は損害賠償を行った。

②講演後の質疑応答

(質問①) 医療機器メーカー 2 社と 1 病院を被告とした事例だが、再発防止対策はされたか？

(回答) 厚生省が指示の上、自主回収させる通達を出した。

(質問②) チャレンジャー号事故のときのように、関わった技術者の意見はあったか？

(回答) 米国の製品であるため、米国では注意書きされていたが、国内ではそれを理解できなかったか、無視されたかと思われる。

(質問③) ベント部で合流しているので、吸入と排気が合流しそうだが？

(回答) 吸入・排気が同時に起こることはないと思う。手術用の短時間利用で、患者が息を吐き終わったら吸入する運用を有するため。

(質問④) 愛媛大で類似の事故が発生している。医者の倫理感も含め、倫理のポイントは何か？

(回答) 企業も医療側も倫理感が不足していると言える。徹底した表示が必要だったと思う。

(質問⑤) 被告 3 者の賠償額は？ ジャクソンリース社は本件前に接続不具合注意書きを貼付したとある。

(回答) 後日回答する。

(質問⑥) 「医師の安全管理義務」はいつだされたのか？

(回答) 本事件後だったと思う。

2-2 技術者倫理の教育（志向倫理）～佐藤委員

① 講演の要旨

以下のように多様な項目に関して説明された。

- 工学は人類に役立つ応用科学である一方、現代科学技術文明には深刻な諸問題もある。
- 生命の誕生と温暖化、オゾン層によって生命は陸上に現れ、CO₂ は生命に必要な不可欠なものであること。
- 持続可能性について（エネルギー資源の可採年数）
- 事実と予測は違うこと、松木真一氏やホセ・ヒムカ氏の主張紹介
- 100 年しか生きない人類にとり、100 年後の予測や約束は空手形か？
- 環境問題は誰かのフィルターを通し、“間接化”された問題へと変質しやすい（松木真一氏）。これにより、政治問題へと変質し、政治パフォーマンスが目的となるのでは？
- SDGs を目的化してはならないのでは？

②講演後の質疑応答

(質問①) “まとめ 1 “「倫理は個人の価値観と関係ありそうだ」とある。倫理は普遍的なものと考えてるかどうか？

(回答) 倫理は法ではなく決まったものはない。普遍的でありそうだが、そうではないと考えている。

(質問② : 意見) 広辞苑によると、倫理には 2 つの流れがある。普遍的なものと、時代と共に変わるものがある。

(回答) 西洋（アリストテレス的）のものはしっかりこない。文化の違いがあるように感じる。

(質問③) CO₂ が生命にとって不可欠と述べられている。しかし、人は酸素が不可欠で、オゾン層で守られている印象。したがって、酸素が重要と考えられる。

(回答) 人は CO₂ を利用し光合成された物を食べている。人中心だと O₂ で、生物を考えると CO₂ と考える。

3.タスクチームからの活動状況報告および質疑応答・意見

3-1 活動管理タスクチームからの報告（井内リーダー）

- ① 第2分冊編集案を第1回倫理委員会時に提示。第3回委員会までに、修正原稿を提出していただくよう要請したが、原稿が集まっていない（清水氏のみ提出）。従って、年末まで延期する。
- ② 第3分冊「事例研究」発表済み委員に、第4回会議（2022年2月）までに原稿を提出していただくよう要請。
- ③ 2021年度倫理委員会活動報告書作成作業を、倫理委員会開催内容と並行で行う。
- ④ 第2分冊編集案をチェックする要請あり（キーワード5つ以内など）。
- ⑤ 第3分冊には、現状案のNo.1～4、7に加え、本日の佐藤氏講演（No.5）の追加を検討する。

【活動管理タスクチームへの質問および意見】

（質問①）教育啓発タスクチームが外部に情報を発信する際の、規定などの問題点を整理して欲しい。最近、千葉県支部のHP上で特定企業の問題を扱ったコンテンツにクレームが入り、公益社団法人としてのガバナンスを問われる案件があったので、事前に検討をお願いするものである。（西井）

（回答）了解した。（井内）

3-2 教育啓発タスクチームからの報告（佐藤リーダー）

- ① 学生への授業実施者へのサポートとしての対応を検討する。
- ② 学生以外として産学官の技術者に対するサポートも検討する。この中で協賛会員を対象とした可能性を検討する。
- ③ 現在までの作成資料は次のものである（1時間程度で報告発表できるもの）。
 - (1) [村岡氏]リスクコミュニケーション、
 - (2) [岩見氏]学生向け技術士制度説明、
 - (3) [勇氏]個体(人間)はいかに生きてきたか、
 - (4) [佐藤氏]結論と行動の科学
 - (5) [下津氏]検討中
- ④ 今後の予定として、(1)チーム内でテーマ発表の継続、(2)講演資料を整理し、外部デリバリーに向け公表する。

【教育啓発タスクチームへの質問および意見】

（質問①）佐藤チームと永岩チームが連携できないか検討してほしい。

（回答）対応する。

（質問②）内部で発表する会合の様子は、他のチームの委員も参加できるのか

（回答）参加希望者には案内メールを送信する。

3-3 倫理研究タスクチームからの報告（永岩リーダー）

- ① 発信型倫理研究イベント：当面は技術士第一次試験適性科目を題材とする。
- ② タスクチームにおいて、あらかじめシナリオ（議論テーマ：プログラム）を作成する。
- ③ 試験的イベントを実施する（試験問題の選定と議論）

- ④ 新年度より、一般会員参加による技術士第一次試験適性科目を題材とした発表ディスカッションイベントを企画する。(イベントタスクの整理、タスク担当者決め、工程表、進捗管理票の作成)

【倫理研究タスクチームへの質問および意見】

(質問①) 正解が出されているが、違う観点からみると、こちらが正解ということも考えられないか？

(回答) ○×の理由や出題の意図・背景を考えたい。

3-4 連携交流タスクチームからの報告 (堀田リーダー)

- ① 他本部との連携について、中部本部及び中国本部との連携の可能性を検討していく。全国大会時に両本部と意見交換する(西井氏)。
- ② 企業との連携について、九電工の連絡窓口の技術士から「技術者倫理」の講義用 ppt データの要求があった。講義用 ppt を送ったので、窓口の方(鶴田氏)を通じて情報を収集する。
- ③ 雑誌「機械の研究」への連載について、九州本部だけではなく、北海道から沖縄までの各本部に声をかけて順番に連載する方が記事内容としては充実したものとなると考えられる。この方向で調整を進める。

【連携交流タスクチームへの質問および意見】

(質問①) 特定企業を対象にするのではなく、協賛企業への倫理講座支援を始めるべきでは？

(回答) 協賛企業に対応したいと考えたが、打診を受けた企業が協賛会員ではなかった。

(意見) 倫理は普遍的なものだ。相手が企業であれば、どこに対しても実施してもよいのではないか。

(質問②) 特定の企業を対象とすることへの公益社団法人としてのガバナンスは？

(意見) 公益社団法人化されて活動範囲が狭まっている。倫理を通じた企業への発信を草の根活動でやってほしい。

(意見) 公益社団法人としては、試験対策といったことにならない配慮が必要。

(意見) 特定企業への倫理教育について、統括本部倫理委員長へ事前に相談してみる。(西井)

(質問③) 中部本部、中国本部との連携について

(回答) 他本部との連携開始にあたり、具体的な提案を検討する。

(意見) ・中部・中国本部とのコミュニケーションとして、委員会へ Web で参加してもらってはどうか。

・中国本部は一昨年九州本部へ来てもらった。再度来てもらうことや、九州から委員会へ参加することも考えてはどうか。

(質問④) 雑誌「機械の研究」の連載方法をどのようにするか？

(意見) 案としては、統括本部と各地域本部が持ち回りで連載する方法を考えている。九州本部倫理委員会からの相談事案として、統括本部倫理委員長へ事前に投げ掛けてみる。(西井)

4. 会務報告と意見交換、その他

4-1 第4回事例研究発表者の選定

- ① 岩尾委員「研究不正」
② 永岩委員「ディスカッションイベント」

4-2 全国大会の『技術者倫理情報連絡会』への参加と準備

- ① 2021年11月26日(金) 9:30~11:45、西井委員長と佐竹委員兩名が参加する。

- ② 九州本部倫理委員会からは、「技術士の継続研さん活動の実績の管理及び活用」における技術者倫理」と「企業や行政機関との技術者倫理に関する連携」の2テーマを提出した。
- ③ 活動報告については、事前に委員へ開示し、確認を得た「九州本部における2年間（2020年度および2021年度）の活動報告」を提出した。
- ④ 全国大会では、中部本部と中国本部関係者と意見交換を図る。

事例研究分担一覧表

No.	事例研究の課題	事例の分類	担当	発表日
1	新幹線台車亀裂事故	予防倫理	井内	2019/2/9
	(続) 新幹線台車亀裂事故			2019/6/29
2	化血研究所偽装事件	予防倫理	小柳	2019/9/21
	(続) 化血研究所偽装事件		勇	2019/11/30
3	巨大 M グループの成功事例と失敗事例	予防倫理 志向倫理	清水	2021/6/19
4	公共事業の入札における課題	予防倫理	稲垣 永岩	2020/2/1 2020/9/5
5	技術者倫理の教育	志向倫理	堀田	2021/9/18
6	データ改竄への対応	予防倫理	下津	事前調査の依頼済み
7	地球環境問題（奄美大島における動物の権利訴訟）	志向倫理	末松	2020/11/7
			井内	2021/2/6
8	研究不正	予防倫理	岩尾	2022/2/5 2021年度第4回予定
9	技術士のアイデンティティ	志向倫理	西井	事前調査の依頼済み
10	PL 裁判事例	予防倫理	末松	事前調査の依頼済み
11	PL 裁判事例 技術者倫理の教育	予防倫理 志向倫理	小柳 佐藤	2021/11/6
12	ディスカッションイベント	志向倫理	永岩	2022/2/5 2021年度第4回予定

回覧および承認(オブザーバー5名の方は入れていません)

名前	役職	日付
井内 祥人	副委員長	11月11日
岩見 裕子	委員	11月12日
勇 秀忠	委員	11月14日
稲垣 浩通	委員	11月12日
岩尾 雄四郎	委員	11月12日
河本 理之	委員	11月14日
城戸 美智子	委員	11月12日
久原 正也	委員	11月17日
佐竹 芳郎	委員	11月12日
佐藤 光雄	委員	11月11日
清水 富夫	委員	11月12日
下津 義博	委員	11月12日
未松 正典	委員	11月9日
永岩 研一	副委員長	11月12日
西井 康浩	委員長	11月11日
堀田 源治	委員	11月11日
松井 法彦	委員	11月15日
村岡 馨	委員	11月12日
諸藤 明子	委員	11月18日

最終承認者 委員長
西井康浩

日付
11月18日